どんぐりの森通信　第27号　2015年 4月

本州各地から桜便りが届くなか、北海道でも、行きつ戻りつしながらも確実に春の足音が聞こえてくる季節になりました。今年の札幌の雪解けは例年より早いようです。毎年必ずやってくる春ですが、いつも少しづつ違います。今年の春を見つけに、野に出て見ませんか！

身近な自然に親しむ活動を続けている私たち『**平岡どんぐりの森**』も新年度の活動をスタートさせました。平岡公園内の森や湿地、池を歩いて探検する親子の自然観察会「ながぐつの土曜日」と、樹木を中心にした大人の観察会「平岡公園ツリーウオッチング」は、今年も定期的に開催します。平岡イオンの森に今年も戻ってきたアオサギたちの観察会、平岡公園のカエルや東部緑地の鳥類のモニタリング調査など、身近に残っている豊かな自然を知る・楽しむ活動を通じて、自然環境と生きものたちを見守る目を増やしていきたいと願っています。

どんぐりの森通信第27号では、2014年10月～2015年3月の活動報告をお届けします。

◆◆ 冬の活動から ◆◆

ながぐつの土曜日

2月 21 日（土） 雪の森たんけんたい（参加者 31名）

『ながぐつの土曜日』は小学生の親子中心の自然観察会です。平岡公園管理事務所と共催で、毎月第3土曜日に開催しています。虫や魚が大好きな酪農大学の学生さん達も毎回参加して、子ども達の質問に答えてくれます。

冬季はスノーシューを履いて雪の森に入り、動物の足跡を探したり、葉を落とした樹木の様子を観察します。今年は晴天に恵まれて、いつもは入れない森の奥まで探検しました。子ども用のスノーシューがやっと履けるようになった小さな子も頑張って斜面を登り、*カラマツ*林の奥にある*クマゲラ*の採餌痕を見に行きました。大きな穴は数年前のものですが、新しい跡もいくつかあります。いつか出会えたら嬉しいね！松ぼっくりの落ちている並木道には、*エゾリス*の小さな足跡が。尻尾だけ残った松ぼっくりの食べカスは、まるでエビフライ！春のような日差しに誘われたのか、雪の上には小さな*クモ*が１匹歩いていました。

平岡公園ツリーウオッチング

毎月第 3 水曜日に、平岡公園内の樹木を中心に見て歩く自然観察会「平岡公園ツリーウオッチング」をやっています。春の芽吹きから新緑、秋の実りと紅葉、厳しい冬に備える落葉と冬芽、四季を通じた観察会で、樹木の１年を見つめます。園内に多いのは、*コナラ*や*ミズナラ*のドングリの木、可愛い実の成る*シナノキ*や*オオバボダイジュ*、*トドマツ*や*エゾマツ*などの針葉樹、大きな*ハリギリ*や、紅葉の美しい*ハウチワカエデ*や*エゾイタヤ*などカエデの仲間。お気に入りの木を見つけて、毎月会いに来て下さい。第３水曜日の午前 10 時、平岡公園第１駐車場集合です。

雪の季節にはスノーシュー（無料貸し出し）で森を歩きます。次ページのレポートをご覧下さい。

平岡公園ツリーウオッチング

11月19日（水）森の冬仕度をウオッチング（参加者　15 名）

例年より早い降雪で、平岡公園はすでに初冬の装いです。森の冬仕度は間に合ったかな？入口の梅の香橋から見ると、園内は雪が積もって冬景色。でも森に入ると、林床では*ツルリンドウ*の赤い実や*トケンラン*の緑の葉が落ち葉に色を添え、*ツチグリ*や*アキノギンリョウソウ（ギンリョウソウモドキ）*の名残の姿も目につきました。ひらひらと舞う*フユシャク*も冬を目前に忙しそう。原っぱでは*ノスリ*が４羽、弧を描いて上空へと上がっていく姿を見ました。南への渡りを急いでいるのでしょうか。一気に終わってしまった秋を惜しみつつ、初冬の森を歩いた１日でした。

2月18 日（水）スノーシューで冬の森を散歩（参加者　16 名）

スノーシューを履いて公園管理事務所前を出発。固雪なので長靴でも歩けそうですが、踏み跡を外すとたちまちスッポリ雪に埋まってしまい、スノーシューの有難さを実感しました。野球場近くで*キタキツネ*を発見！フワフワの冬毛で軽々と走って逃げて行きました。*プラタナス*（鈴懸けの木）の並木道で、雪の上に落ちた丸い実を拾い、中を割ってみると長い綿毛の付いたタネがぎっしり詰まっています。公園を整備した時に植えたもので、世界の4大街路樹の一つだそうです。

林に入ると、あちこちから鳥の声が聞こえてきます。おなじみの*シジュウカラ*や*ヤマガラ*の他に、*ウソ*の細い声も聞こえました。梅園には今年もたくさんの*ウソ*がやってきて花芽を食べてしまうので、梅の開花を待つ担当者を悩ませているそうです。林の中では、梢に付く*ヤドリギ*や*イワガラミ*、*ツルアジサイ*のドライフラワーが目に留まりました。

冬休み平岡公園にぎわいフェスタ　1月17日（土）　参加者67名

朝からの吹雪で参加者の出足が心配でしたが、開始時間には大勢の親子連れが集まり、スノーキャンドル作りや雪遊びを楽しみました。スノーシューを履いて『冬の森たんけん』にも元気に出発です。初めて履く子でも、すぐに楽々歩けるのがスノーシューの強み。今年は雪の状態も良く、裏側の山までロングコースを歩きました。昨年初登場して人気のジャンボそりに、今年も子ども達の歓声が響きます。公園事務所特製のお汁粉と温かいお茶で一息ついてから、広場に並べたスノーキャンドルの点灯です。夕方から荒れ模様になった空ですが、楽しい冬の1日に満足して家路につきました。

清田緑地たんけん（小学校総合学習）2月13 日（金）ひまわり学級、25 日（水）3 年 1 組･2 組

四季の清田緑地を歩いて、森の植物や生きものを観察する総合学習、2 月はスノーシューを履いて雪の緑地に入りました。雪が深く積もった森の中をスノーシューで歩く子どもたちは、それだけで楽しそう！樹木の冬芽や木肌に触ってみたり、*クマゲラ*のあけた大きな穴の中に指を入れて深さを測ってみたり、緑地たんけんも回を重ねて子ども達の行動が積極的になったようです。学期末の感想文では、「夏と冬では森の様子が全然違うのにビックリした」「あまり好きでなかった緑地が好きになった」など、子ども達の嬉しい言葉をたくさん頂きました。どうもありがとう！